

# 学校だより 希望の鐘

ひとつのつぼみはいつしかひらかない



## 八 戸 市 立 小中野中学校

平成30年10月25日(木)

No.135 文責：校長  
工藤聡

### 挑戦の先にある未来

『Possibility ～挑戦の先にある未来～』のテーマのもと、練習や準備活動に取り組んだ平成30年度文化祭が、無事に終わりました。

私は、テーマの中の「挑戦の先にある未来」という部分がすごく好きです。今回のように学校行事に取り組む際には、ある程度前年度のことを踏襲（トウシュウ：今までのやり方を受けついで、そのまま行うこと）します。それが伝統ともいえるべきものだからです。しかし、いつも同じであれば、そこには停滞（テイタイ：物事がつかえて進まないこと）が生じ、いつの間にか腐れて（スタレル：おとろえること）いってしまうことになりかねません。毎回、何かの変化をつけ続けることが「進化」「進歩」「発展」につながるのだと思います。今回のテーマには「これまでの伝統を土台にしながら、常に新たなことに挑戦していくことで、よりよい未来が拓かれていく」という意味があるのではないのでしょうか。学校としても「前と同じ」ではなく、少しずつ変えるようにしています。2年前は、えんぶり・虎舞において、「2年生が前年の経験を生かして1年生を指導する」という形を確立しました。昨年は、ステージ発表で体育の授業のダンスを学級ごとに披露することとしました。今年は、国語や美術、技術家庭等の教科展をやめ、すべて学年ごとに展示しました。さらに、文化祭の一部である後夜祭を前日祭に改め、保護者の方々にも公開することとしました。

このように、少しずつ変化してきた“コナ中文化祭”ですが、今年はどうだったのでしょうか？

まず展示部門ですが、非常に充実していました。特に、学年ごとに展示していた教科の作品です。どの作品も、一生懸命制作（製作）しているみなさんの様子が思い浮かぶものばかりでした。充実ぶりは、校内装飾にも表れていました。1階廊下の天井からつるされていた黒とオレンジのビニールにハロウィンを模した（モスル：真似て作ること）物や中央階段の足をかけない側面を利用した「文化祭の表示」は、これだけで立派な作品だなあと感心させられました。どの展示もよかったのですが、私が一番好きだったのは、生徒会展にあった「全校生徒の顔写真と将来就きたい職業」でした。職業のイラストに顔写真をあわせたアイディアが秀逸（シュウイツ：ひいでてすぐれていること）で、文化祭だけではもったいないので、校長室前の廊下に掲示することにしました。

例年、後始末は45分くらいであっという間に終わるのですが、今年はその倍くらいの時間がかかりました。これは、どの展示においても、ていねいに展示作業を行ったからこそだと私は思います。

ステージ発表も、とても見ごたえがありました。[ ]さんの海外派遣発表と[ ]さんの英語弁論はどちらもシンプルでしたが、短時間の中に発表者の気持ちや練習の成果が凝縮（ギョウシュク：内容などを一点に集中させること）されていたように感じました。1・2年生によるえんぶり・虎舞は、すでに文化祭の目玉（メダマ：演目の中でも中心となるもの。その代表）となりつつあります。地域の芸能を演じながら伝承していくということは、地域の発展にとっても大切なことです。将来も携わっていく生徒は少ないと思いますが、中学生の頃に経験することで、自身の故郷に対する愛着や理解も進むと思います。2・3年生のダンス発表は、気分ノリノリでダンスもキレキレの女子とあまりそうでないながら頑張っていた男子のコントラストがユーモラスで、大変楽しいものになりました。ステージ発表の華ともいえるべき吹奏楽部の発表は、3年生部員が7名ということもあって、7色の虹をテーマにしていました。[ ]先生、[ ]先生、[ ]先生のパフォーマンスもあり、見ていて人を楽しませようという思いにあふれていたと思います。2年1組のダンス発表には[ ]先生も登場していましたので、もしかして来年の前日祭には教員チームのダンスが見られるかもしれません。3年生の演劇は、文化祭の取りを飾る（トリヨカザル：最後をしめくくすること）にふさわしい、素晴らしいものでした。母の胎内に宿った小さな命が、白の使者（天使？）と黒の使者（悪魔？）に翻弄（ホンロウ：思いのままにされること）されながらも、最後には生きることの意義に気づき、しっかり生きていくことを宣言するという内容です。キャスト・スタッフともに中学生としては圧巻の演劇を見せてくれましたが、中でも[ ]くんの謎の老人（神様？）は、演劇全体を支配していたと思います。数多いセリフの全部を一日で覚えたということも聞いています。本当にお疲れさまでした。

さて、文化祭は無事終了しましたが、成功したかどうかは今後のみなさんにかかっています。文化祭で学んだ「ものを創り上げる喜び」「仲間とのチームワーク」等を、学校生活に生かしてもらえればと思います。無事終了することができたのは、地域の方々や保護者の皆様のおかげでもあります。謙虚に感謝し、それをやはり普段の行動で表してください。



## そんな「うまい話」あるわけないっ！

1か月くらい前、あることを調べるためにインターネットを見ていたら、「食べても食べてもどんどんやせる」「こわいくらいやせる」という記事（広告）を見つけてしまいました。『食べてもやせる』『こわいくらいやせる』という表現から目が離せなくなり、思わずそのページをクリックしていました。それは、「〇〇〇っ〇〇〇酢」という栄養食品でした。さっそく家族に話をし、取り寄せてもらうことにしました。1袋に30粒入りで通常3千円ですが、初回限定で500円でした。5日後に届いてから、毎日飲んでいますが、一向に（イッコウニ：全然、まったく）やせる気配がありません。やせるどころか、少しずつ増えているような感さえます。いつもは少し加減して食べるのですが、「食べても食べても、こわいくらいやせてしまう」というフレーズにのせられて、食べ過ぎているのだと思います。そのことを昨日家族に話したら、「そんな『うまい話』あるわけないでしょう！」と一笑に付されて（イッシュウニフス：笑って相手にしないこと）しまいました。家族は続けて「そんなのがあったら、誰でもみんなやせられるよ」と言うのです。そういえば、私が子どもの頃（50年くらい前）に、『睡眠学習勉強法』というのがありました。寝ている時に、耳にヘッドホンをあてて英単語とか英文を聞くと、勉強したと同じ効果があるというものでした。結構高額でしたが母に「買ってくれ」とねだる（ネダル：無理に頼んだりして、ほしいものを求めること）と、「寝ていて知識がつくなら、誰もがみんなそうなるでしょ。そんな話、あるわけないでしょ。」と言われてしまいました。今回と全く同じです。ただ、まだ飲み始めて3週間です。飲み続ければ、もしかして本当に『こわいくらいやせられる』かも…とまだ少し思っている自分がいます。

文化祭が終わり、特に3年生は受検本番を迎えます。「やる」「やらない」は別として、誰もが勉強をしなければいけないことを感じているはず。時間をかけない、有効かつ簡単な魔法のような勉強法なんてあるわけありません。地道に、少しずつ進めるほかはないのです。志望校合格にも「うまい話、あるわけありません」よ。

## 幻の同姓同名

私の名前は「聡」ですから『耳』が、家内（カナイ：他人に対して、自分の妻を言う時に用いる）は「睦子」で『目』がついているので、子どもには『口』のついた名前をつけたいと考えていました。このことは前にも何回か言ったことがあるので、覚えている生徒も多いと思います。私の子どもは、現在27歳の息子だけで、名前は「啓」といいます。この後に、女の子が二人生まれることまで想定（ソウテイ：条件や状況などを仮に決めること）し、ひらがなで「まゆ」と「はな」にしようということまで考えていたのです。

さて、息子が生まれる時、もちろん女の子だった場合の名前も考えていました。やはり『口』のつく名前ということで、「咲」にしようと思っていました。その「咲」さんが、偶然みなさんのお姉さんにいることが先日わかりました。しかも、私の息子が8月下旬生まれなのに対して、咲さんの誕生日は9月初めとのことで、もう他人とは思えなくなりました。息子は、出産予定日より1週間ほど早く生まれているので、もしかすると生年月日まで一緒だった可能性もあります。咲さんのお母さんに咲さん本人の写真も見せていただきましたが、ものすごい美人さんでした。女の子は父親に似ることが多いと言われているので、私に娘がいたとしても、咲さんのような美人さんにはならなかったことは明白（メイハク：はっきりしていること）ですが、それでも咲さんのような娘がいたらと思うと、なぜかうれしくなってしまうのです。

名前には、親の願いや思いがこめられています。私のかつての生徒には、星（ていあら）さんという人がいました。生徒ではありませんが、緑輝（サファイア）さんという名前も聞いたことがあります。自分の名前にはどのような意味があるのか、家の人に聞いてみてはどうでしょうか。

## 【今日のひとり言】

●4月の学校だより「新任の先生紹介号」で、先生の苦手な食べ物がブッセだということで驚きました。私はブッセが大好きだからです。先生は、口の中の水分をとられる食べ物全般がダメということだったのですが、さらに苦手な食べ物がわかりました。それは、トロやハマチのような脂分の多いお刺身身でした。私は大間町に勤務している時、1回だけですが大トロをごちそうになったことがあります。口の中でとけていくような感じで最高美味しかったのですが、それが苦手だなんて…。食べ物の好き嫌いも当然個性ですが、先生と割り勘（ワリカン：全部の金額を人数で割ること）で刺身を食べに行きたいと、心から思った私でした。（少しせこいですか？）

●今日の私の似顔絵は、年組のさんに描いてもらいました。文化祭ステージ発表では、キレキレのダンスを披露してくれました。ある先生は、さんのダンスが一番良かったと言っていました。来年は、前日祭にも出てもらいたいと思います。ちなみに、明日のBeFMはソフトテニス部の出演ですから、さんにも出ます。時間のある人は聴いてください。